

入試のポイント

1. 国公立大学と併願しやすい入試日程

一般入学試験や大学入試センター試験利用入学試験は、大学入試センター試験受験後でも出願可能です。

公募制推薦試験は、国公立大推薦入試（大学入試センター試験を課さない場合）の合格発表後でも出願しやすくなっています。

【対象試験】

公募制推薦入学試験、一般入学試験（前期・後期）、大学入試センター試験利用入学試験（前期・中期・後期）

2. 最後まであきらめずに挑戦できる入試日程

一般入学試験（後期）や大学入試センター試験利用入学試験（後期）は、国公立大学前期日程の合格発表後でも出願可能です。

【対象試験】一般入学試験（後期）、大学入試センター試験利用入学試験（後期）

3. 高い学力と意欲を兼ね備えた学生の期待に応える H.I.T. 特別養成コースを開設

学力や意欲の高い学生の能力をさらに伸ばし、地域や日本を代表して活躍できる人材を養成するためのプログラムです。特別養成コースの学生は学科に所属し、学科のカリキュラムに加えて特別カリキュラムを履修することができます。

特別養成コースの受講生は全員特別養成コース特待生として、原則 4 年間授業料の減免を受けることができます。

【対象試験】H.I.T. 特別養成コース選抜一次試験：大学入試センター入学試験（前期・中期）＋二次試験：面接

4. 充実した特待生制度で学費減免となります

原則 4 年間授業料の減免を受けることができる本学独自の特待生制度を設けています。例えば、特待生 A に採用された場合、工学部では 4 年間で 240 万円免除となります。また、感性デザイン学部では 4 年間で 160 万円免除となり、4 年間合計学納金が国公立大学標準額よりも安くなります。

学業特待生は、一般入学試験（前期）と大学入試センター試験利用入学試験（前期）を併せて受験することで、採用される可能性が広がります。また、年内に合格となった A O 入学試験（第 1 クール・第 2 クール）、指定校制推薦入学試験、社会人特別入学試験、帰国生特別入学試験入学手続き者も学業特待生選考試験を受験することができます。

さらに、これまでに取得した資格を対象とした資格特待生制度があります。この制度は A O 入学試験（第 1 クール・第 2 クール）または指定校制推薦入学試験を受験した方が対象となり、顕彰制度認定者・資格取得者に対して入学金全額あるいは一部を免除します。

【対象】

学業特待生選考試験……………一般入学試験（前期）、大学入試センター試験利用入学試験（前期・中期）、社会人特別入学試験、
帰国生特別入学試験

スポーツ特待生選考試験… A O 入学試験

資格特待生…………… A O 入学試験（第 1・第 2 クール）、指定校制推薦入学試験

5. これまでに取得した資格や課外活動での頑張りを評価します

A O 入学試験や推薦入学試験では、これまでに取得した資格・検定試験や部活動、ボランティア活動など、多様な学習や活動を評価します。

【対象試験】 A O 入学試験、指定校制推薦入学試験、公募制推薦入学試験

- ・本学では高等教育無償化制度の機関要件の確認申請を行う予定です。
- ・本学が対象大学となった場合は、あらためて特待生制度の詳しい内容をお知らせします。
- ・支援対象者（入学する本人）が特待生に採用された場合は、上記金額を上限に学費を免除します。